

安全データシート

作成日 2019年 2月 25日

改訂日 年 月 日 1/4頁

SDS No. 1001-0269

1 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Celite 545 SK (AW)
提供者名 : ジーエルサイエンス株式会社
住所 : 東京都新宿区西新宿6-22-1 新宿スクエアタワー30F
電話番号 : 03-5323-6611
FAX番号 : 03-5323-6622
製品コード : 1001-34203、1001-34206、1001-34208、1001-34210、1001-34253、1001-34256、1001-34258、1001-34260、1001-34273、1001-34276、1001-34278、1001-34280、1001-、1003-
緊急連絡先 : ジーエルサイエンス(株)福島工場 品質保証課 電話 024-533-2244(代表)
整理番号(SDS No.) : 1001-0269
推奨用途及び使用上の制限 : 試験・研究用

2 危険有害性の要約

Celite 545 SK (AW)はGC分析用充填剤です。本製品がカラムに充填された場合、外部に漏れ出すことはありませんが、情報提供の観点から、以下に充填剤の情報を記載します。
充填剤自体の情報も以下の通りです。

GHS分類 : 分類できない
物理的及び化学的危険性 : 通常の取り扱いでは危険性は低い。
健康に対する有害性 : 皮膚に対する刺激性はほとんどない。粉塵を大量に吸入すると有害である。
経口毒性は低いが大いに摂取すると、有害である。眼、粘膜に接触すると刺激作用がある。長期暴露により、不快感、腹痛、下痢、吐き気等の症状が出る恐れがある。
環境への影響 : データなし
その他の情報 : 内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託すること。

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : 化学物質
化学名(又は一般名) : 酸洗浄済み珪藻土
別名 : Celite 545 SK
含有率 : 100%
化学式 : SiO₂(主成分として)
官報公示整理番号 : 化審法：設定されていない
安衛法：設定されていない
CAS RN : 68855-54-9(珪藻土)
危険有害成分 : なし

4 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
必要なら医師の診断を受けること。
皮膚に付着した場合 : 流水および石鹸で十分に洗い、必要により医師の診断を受けること。
眼に入った場合 : コンタクトレンズをつけている場合は外すこと。こすると眼球に傷をつける恐れがあるので、直ちに清浄な流水で15分以上洗眼すること。
必要により医師の手当てを受けること。
飲み込んだ場合 : 水でよくうがいをし、大量の水を飲ませて、可能ならば吐かせる。
必要により医師の手当てを受けること。
急性症状及び遅発性症状の
最も重要な兆候症状 : 通常の使用では重大な有害影響は少ない。
応急措置をする者の保護 : 適切な保護具を着用すること。

5 火災時の措置

消火剤	: 水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤
使ってはならない消火剤	: 棒状水
火災時の特有危険有害性	: 火災時に刺激性もしくは有害なヒューム(またはガス)が発生するおそれがある。消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
特有の消火方法	: 移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。作業は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。
消火を行う者の保護	: 消火活動の際は、適切な空気呼吸器と化学用保護衣を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	: 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 作業の際には適切な保護具を着用し、粉塵等が皮膚や眼に付着したり、吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項	: 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。 汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
回収、中和	: 漏洩物を掃き集めて密閉できる容器に回収する。その後を多量の水を用いて洗い流す。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。 眼、皮膚への接触を避ける。
安全取扱注意事項	: 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。 漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。 使用後は容器を密閉する。 吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。 取扱場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。
衛生対策	: 取扱い後は手、顔等をよく洗い、うがいをする。 指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。 休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。 取扱場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。
保管	
適切な保管条件	: 直射日光を避け、換気の良い場所で密閉して保管する。
避けるべき保管条件	: 直射日光、高温、火花等を発生する場所、混触危険物質との接触
技術的対策	: 特になし
混触危険物質	: 強酸化性物質、強酸化剤、強塩基
安全な容器包装材料	: ガラス、ポリエチレン等(密閉できる物)

8 ばく露防止措置

設備対策	: 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、局所排気装置を設置する。 取り扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
管理濃度 作業環境評価基準	: 設定されていない
許容濃度	
日本産業衛生学会	: 吸入性粉塵 0.5mg/m ³ 、総粉塵 2mg/m ³ (珪藻土)
ACGIH TLV(s)	: 設定されていない
OSHA PEL	: 設定されていない

保護具

呼吸器の保護具	: 保護マスク
手の保護具	: 不浸透性保護手袋
目の保護具	: 保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	: 保護衣・保護長靴
適切な衛生対策	: マスク等の吸着剤の交換は定期又は使用の都度行う。

9 物理的及び化学的性質

形状	: 顆粒
色	: 白色
臭い	: データなし
pH	: データなし
融点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: 可燃物ではない
爆発範囲	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度(空気=1)	: データなし
比重	: 0.19 g/cm ³ (Dry)
溶解性	: 水、有機溶媒に不溶
<i>n</i> -オクタノール／水分配係数	
log Po/w	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし

1 0 安定性及び反応性

化学的安定性	: 適切な保管条件下では安定。空気中の水分、炭酸ガスを吸収しやすい。
危険有害反応可能性	: 適切な保管条件下では安定。
避けるべき条件	: 湿気、日光、熱、裸火、高温、スパーク、静電気
混触危険物質	: 強酸化剤、酸性化合物
危険有害な分解生成物	: データなし
推奨用途及び使用上の制限	: 試験・研究用

1 1 有害性情報

急性毒性	: データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: データなし
呼吸器感作性	: データなし
皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性	: データなし
吸引力呼吸器有害性	: データなし

1 2 環境影響情報

生態毒性	: データなし
残留性／分解性	: データなし
生態蓄積性	: データなし
土壌中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: 本製品はオゾン層破壊物質に該当しない。

1 3 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。
都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
- 汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。
-

1 4 輸送上の注意

- 国連番号 : 非該当
- 国連分類(危険有害性クラス) : 非該当
- 海洋汚染物質 : 非該当
- 注意事項 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないこと確認する。
転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う
-

1 5 適用法令

- 毒物及び劇物取締法 : 非該当
- 労働安全衛生法 : 非該当
- 化管法 : 非該当
- 化審法 : 非該当
- 消防法 : 非該当
- 船舶安全法(危規則) : 非該当
- 航空法 : 非該当
- 海洋汚染防止法 : 非該当
- 水質汚濁防止法 : 非該当
- 大気汚染防止法 : 非該当
- 土壌汚染対策法 : 非該当
-

1 6 その他の情報

引用文献等

- 化学品安全管理データブック、化学工業日報社
16918の化学商品 化学工業日報社(2018)
- 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム(CHRIP)
- 航空危険物規則書 第52版邦訳 等・他

記載内容の取扱い

全ての資料や文献を調査したわけではないため情報漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合は、出典等をよく検討されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。なお、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。また、注意事項は、通常的な取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、この点にご配慮をお願い致します。